

地方行政サービス改革の取組状況等(平成30年4月1日現在)

自治体コード	都道府県名	市区町村名	類似団体区分
245437	三重県	紀北町	町村 IV-2

(1)民間委託

	直営(※)	今後の対応方針【直営(※)を選択した団体のみ回答】	【参考】	
			類似団体委託率	全国(市区町村)委託率
本庁舎の清掃			100.0%	99.7%
本庁舎の夜間警備			100.0%	98.6%
案内・受付			75.0%	91.2%
電話交換			90.0%	94.2%
公用車運転			89.3%	88.1%
し尿収集			94.9%	97.9%
一般ごみ収集			97.7%	96.9%
学校給食(調理)			54.2%	68.3%
学校給食(運搬)			80.0%	91.2%
学校用務員事務			28.6%	35.1%
水道メーター検針			100.0%	99.1%
道路維持補修・清掃等			95.6%	96.9%
ホームヘルパー派遣			100.0%	98.8%
在宅配食サービス			100.0%	99.9%
情報処理・社内情報システム維持			98.0%	99.5%
ホームページ作成・運営			100.0%	97.7%
調査・集計			95.0%	96.2%

※平成30年4月1日現在において、直営で専任職員を置いている団体

(2)指定管理者制度等の導入

	公の施設数	制度導入施設数	導入率	前年度以降、導入が進んでいない理由	自治体職員常駐施設数	自治体職員を常駐で配置している事に対する考え方	【参考】	
							類似団体委託率	全国(市区町村)委託率
体育館	3	0	0.0%	施設規模が小さく、導入メリットがないため。	0		15.7%	39.2%
競技場 (野球場、サッカーコート等)	3	0	0.0%	施設規模が小さいので導入メリットがないため。	1	施設規模が小さいので指定管理者導入メリットがないため。	21.6%	46.9%
プール	1	1	100.0%		0		30.6%	49.1%
海水浴場	0	0			0		31.6%	13.2%
宿泊休業施設 (ホテル、宿泊施設等)	0	0			0		77.8%	87.8%
休業施設 (公民館等、山・山の営業)	1	0	0.0%	地元業者との委託契約を締結し、管理運営しているため。	0		67.9%	76.3%
キャンプ場等	1	1	100.0%		0		58.6%	58.7%
産業情報提供施設	2	2	100.0%		0		66.7%	74.1%
展示場施設、見本市施設	0	0			0		0.0%	63.6%
開放型研究施設等	0	0			0		0.0%	48.5%
大規模公園	0	0			0		31.8%	41.7%
公営住宅	25	0	0.0%	施設規模が小さく、施設も古いから。	0		0.0%	13.8%
駐車場	0	0			0		22.9%	38.0%
大規模公園、茶場等	0	0			0		7.7%	22.0%
図書館	3	0	0.0%	小規模施設であるため。	3	施設規模が小さいため、指定管理者制度の導入メリットがなく、採算性の必要性からそれぞれの施設に職員を常駐させている。	6.5%	18.4%
博物館 (美術館、博物館、歴史博物館)	2	0	0.0%	施設規模が小さく、入場料も無料であるため、導入メリットがないため。	2	施設規模が小さいため、指定管理者制度の導入メリットがなく、採算性の必要性からそれぞれの施設に職員を常駐させている。	11.5%	28.0%
公民館、市民会館	11	0	0.0%	施設規模が小さく、導入メリットがないため。	4	公民館という公共性の高い施設で、複数年施設利用が比較的多い施設には、職員を常駐させて管理する必要がある。	11.2%	22.2%
文化会館	0	0			0		20.7%	51.1%
合宿所、研修所等 (夏休みの営業を含む)	1	0	0.0%	地元業者へ管理業務を委託しているため。	0		50.0%	48.2%
特別養護老人ホーム	1	0	0.0%	施設が古く、修繕等の経費が掛っており、養護老人ホームを併設していることから、導入は困難であるため。	1	養護老人ホームを併設する施設であり、提供サービスの内容や施設管理を各専任職員が実施しているため。	33.3%	74.2%
介護支援センター	2	2	100.0%		0		22.2%	50.5%
福祉・保健センター	1	0	0.0%	利用頻度が少ない施設であるため、導入メリットがないため。	0		47.7%	53.6%
児童クラブ、学童館等	0	0			0		12.8%	22.7%

(3)窓口業務

総合窓口の設置	設置状況	設置予定無し	→	予定時期	-
窓口業務の民間委託	委託状況	委託有			

BPRの手法を用いた業務分析

取組状況	→	業務改革効果
------	---	--------

【参考】

類似団体	民間(市区町村)
設置率	委託率
7.8%	11.8%
12.7%	22.4%

(4)庶務業務の集約化

実施状況	委託状況	→	対象部局	対象業務
実施予定無し	委託予定無し		首長部局 企業局 教育委員会 その他 給与 旅費 福利厚生 財務会計	

【参考】

類似団体	委託率
類似団体	0.0%
全国(市区町村)	27.2%

※実施予定無し及び(首長部局未設置)は「未実施の理由」で、「実施予定あり」の団体は「実施予定時期」を記述してください。
【人口が5万人未満の団体は回答不要】

BPRの手法を用いた業務分析

取組状況	→	業務改革効果
------	---	--------

(5)自治体情報システムのクラウド化

実施済	○	→	類型	実施時期	自治体クラウドへの移行時期
			自治体クラウド 単独クラウド	平成29年度	
実施予定		→	類型	実施予定時期	
			自治体クラウド 単独クラウド		
検討中		→	検討状況		
未実施		→	実施しない理由		

【参考】

実施率(類似団体)	単独クラウド
自治体クラウド	31.4%
単独クラウド	39.2%
全国	
自治体クラウド	23.6%
単独クラウド	38.3%

(6)公共施設等総合管理計画

策定済	○	→	策定予定	→	策定予定時期
-----	---	---	------	---	--------

【参考】

類似団体	全国(市区町村)
策定割合	策定割合
100.0%	99.6%

(7)地方公会計の整備

統一的な基準による財務書類の作成状況(一般会計等財務書類)	作成済	○	→	作成予定	→	作成完了予定年度	平成30年度
-------------------------------	-----	---	---	------	---	----------	--------

【参考】

類似団体	全国(市区町村)
作成割合	作成割合
78.4%	82.8%

(注1)統一的な基準による地方公会計については、原則として平成27年度から平成29年度までの3年間で整備するように要請されているが、当該調査の基準日はその初年度の開始時点である。
(注2)「作成済」の※印は、平成29年度決算から取引の都度、伝票単位ごとに仕訳を行う方法(日々仕訳)により平成30年度中に財務書類の作成を行う団体